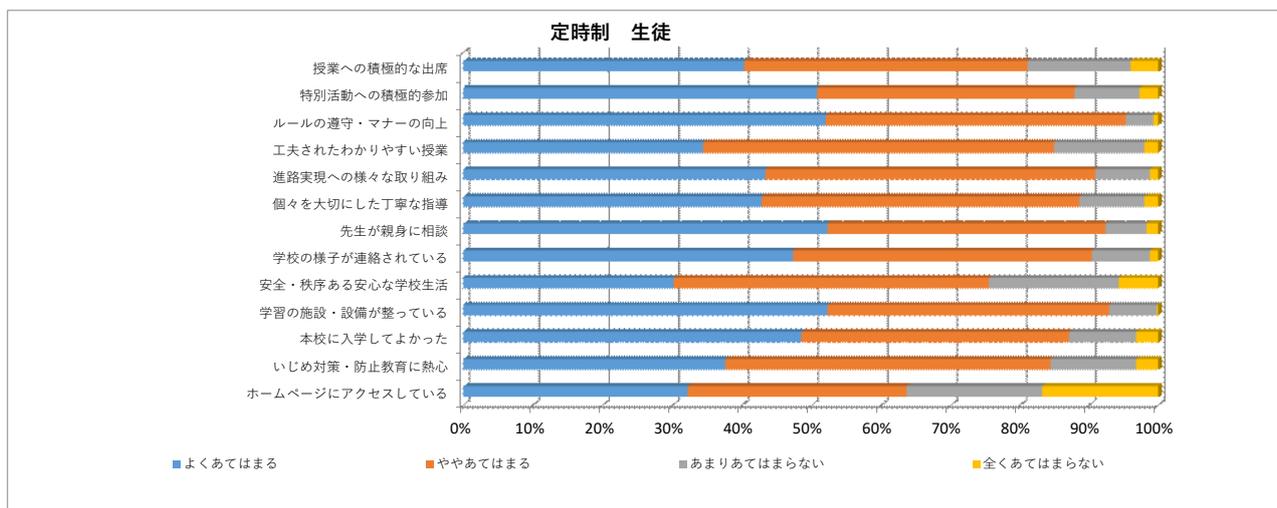


平成30年度 学校評価結果について

1 生徒アンケート（定時制・通信制）から

- (1) 定時制では、「よくあてはまる」あるいは「ややあてはまる」という肯定的な評価が、2項目を除いた全ての項目で80%以上という高い割合で安定化している。指導の成果が数値として明確に表れていると言える。

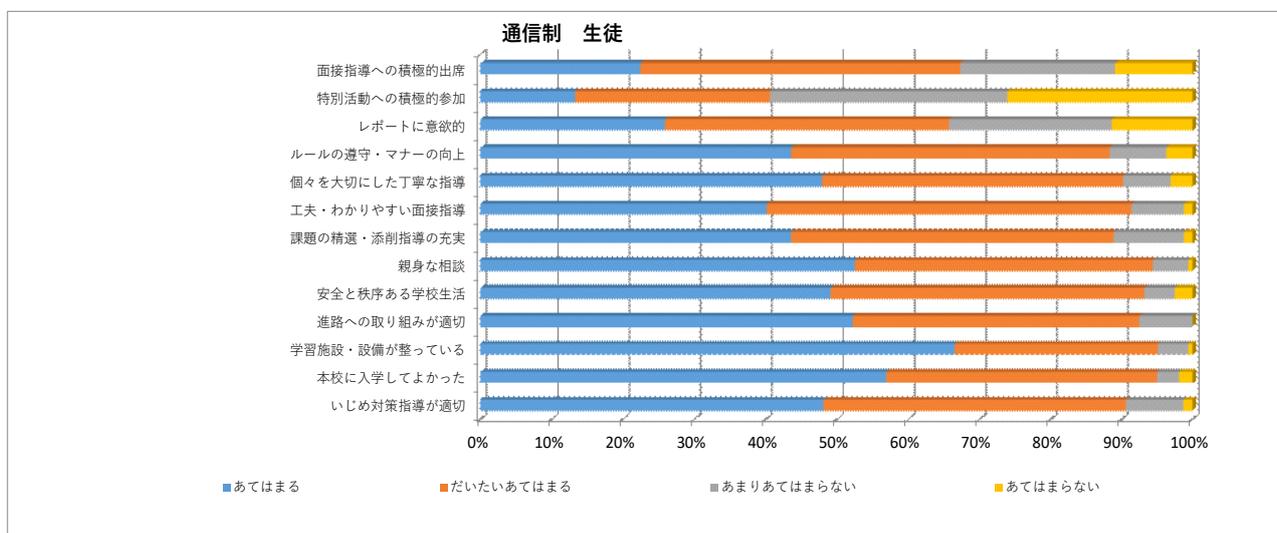
80%に届かない2項目の中で特に「9. 安全・秩序ある安心な学校生活」の項目は、昨年度同様に引き続き低い数値となっている。さらに落ち着いた学習の場の実現に意を注いでいきたい。また、ホームページへのアクセスの呼びかけも課題であると言える。総合的に見ると87%の生徒が「本校に入学して良かった」と評価しており、極めて高い評価が得られていると言える。引き続き個を大切にしながら指導に努めていきたい。



- (2) 通信制では、「あてはまる」あるいは「だいたいあてはまる」という肯定的な評価が、3項目を除いた全ての項目で80%以上という高い割合になっている。学習環境についての満足度は高く極めて良好な状況と認められる。

しかし、生徒自身の活動状況である「特別活動への積極的参加」「レポートに意欲的」「面接指導への積極的出席」の3項目については「あてはまらない」「あまりあてはまらない」とする回答が目立っており、学校生活に消極的な姿勢であることを自覚している結果で、学校に対する関心の低さの表れであると思われる。今後 生徒の意欲を引き出すための工夫・改善がさらに必要である。

総合的に「本校に入学して良かった」というプラス評価は、95%と非常に高い数値を示しており、生徒にとって良い環境が実現していると考えられる。

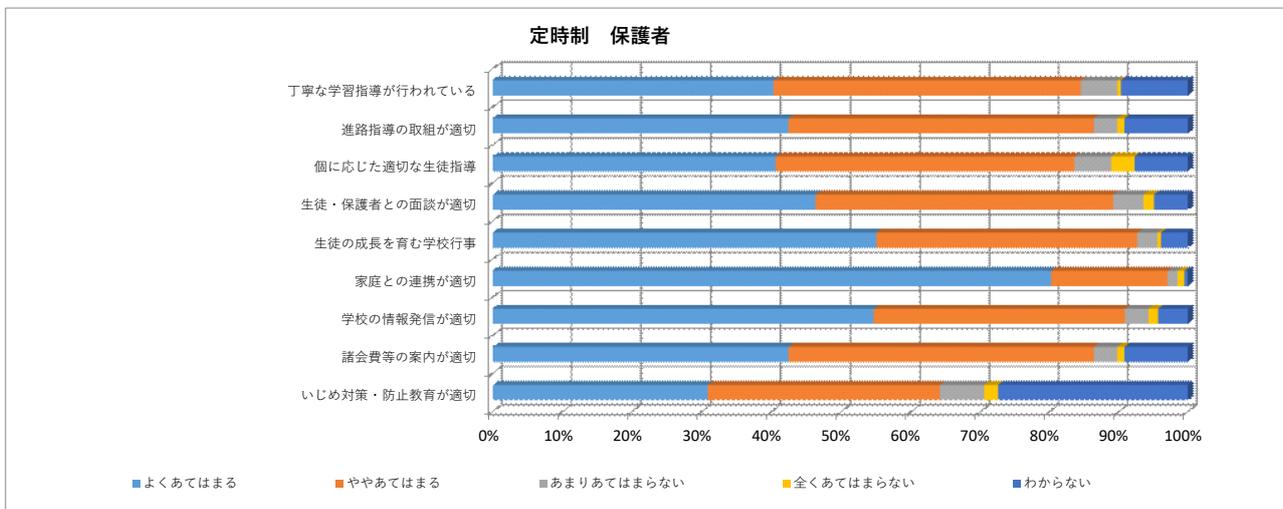


2 保護者アンケート（定時制・通信制）から

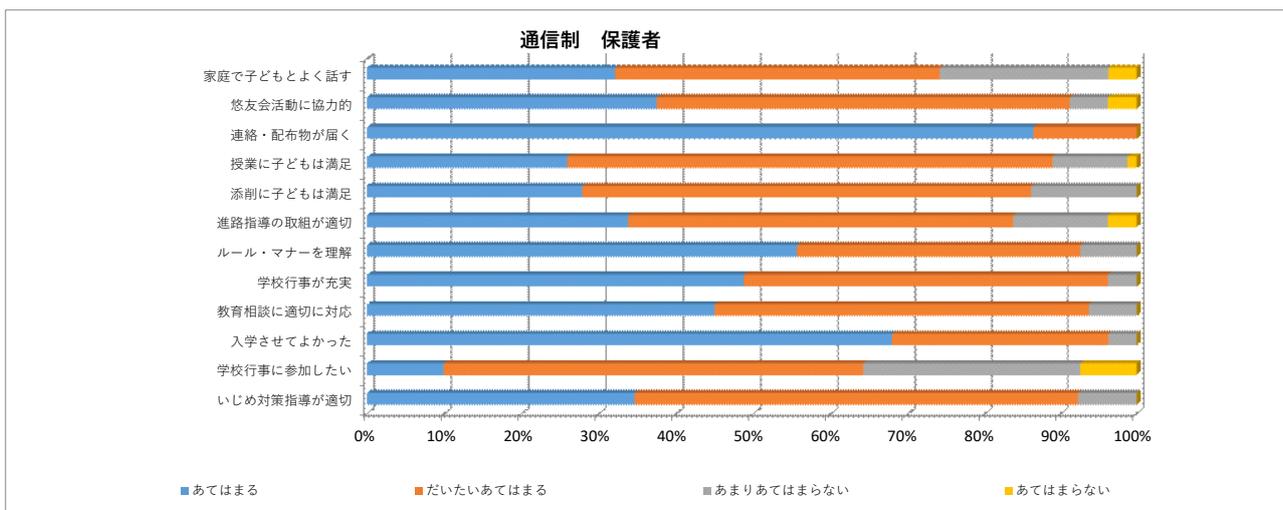
ほぼ全ての項目において、80%を超える保護者が肯定的な回答をしている。下回った項目は「家庭で子供とよく話す」「学校行事に自分も参加したい」という通信制の2項目と定時制の「いじめ対策・防止教育が適切」の1項目のみである。通信制の2項目は保護者自身の振り返りの結果のものと言える。また、定時制のアンケートでは「わからない」との回答の選択肢があり、特にいじめの回答では56人と他の項目と比較して非常に高い割合であり、今後は保護者に対しての説明の工夫・改善が課題である。

定時制・通信制の特色を踏まえた学習指導・進路指導・生徒指導には、ほぼ理解が得られていると考えられる。面談・学校行事・保護者との連携などにも、80～90%以上と高い評価を受け、生徒の学校生活に役立っていると判断出来る。また、定時制の「家庭との連携が適切」、通信制での「学校からの連絡や配布物が届く」の項目については極めて高い評価が得られており、学校に対する信頼の高さに繋がると考えられる。

総合的に見て、本校の教育活動に対しては、生徒同様に保護者にも支持されており、学校の設置理念との合致が認められる。今後、さらに理解を得られるように、教職員及び保護者が一体となって生徒たちに向き合うよう努め、教育活動が展開できるようにしたい。



※ 定時制保護者のアンケートには回答の中に「わからない」の選択肢があり、その人数は上から20・19・16・10・8・1・9・10・56人である。



ただし、保護者のアンケートの回収率が低く、定時制・通信制ともに50%以下で、回収率を高めることが次年度からの課題である。

[参考]

アンケート回収率：定時制生徒 78.6% 通信制生徒 64.7%
 定時制保護者 45.4% 通信制保護者 32.5%

